



東深沢

令和7年9月1日
みしまの森学舎
世田谷区立東深沢小学校
校長 奥長 英樹



‘自分の頭で考え、自分で決める’

校長 奥長 英樹

長い夏休みが終わりました。2学期のスタートです。今年の夏も、例年以上に、酷暑で暑さ厳しい夏でした。そのような中、健康で安全な生活を送ることができたでしょうか。まだまだ残暑は続きそうですが、必ず季節は廻ります。健康な生活を心掛け、2学期も元気に取り組んでいければと思います。

1学期の終業式で、夏休みはたくさん読書をしたいというようなこととお話ししました。たまたま出会った本の中に、次のような一節がありました。

「教育は、子どもをコントロールするために行うのではない、子どもに力を与えるために行うのだ。自分の頭で考えられるように」(『みかづき』森 絵都 より)

コントロールということについて、少なからず意識した大人は多いと思います。私たち教員にとっても、30人以上の子どもたちと学校生活の中で学習を進めていくには、当然コントロールという側面も必要です。特に集団としての学級を運営したり、一つの教科の学習を学級で進めたり、必然的に集団をコントロールしようと意識が働きます。ご家庭でも子どもたちが生活するのにあたって、多かれ少なかれコントロールという面があるのではないのでしょうか。一人一人の子どもたちにとっても家庭での過ごし方はそれぞれだと思います。しかしながら先述した一節のように、学びにおいて、学習において、間違いなく他者が子ども自身をコントロールすること、そのような力を養うことが、目的ではありません。言い方を変えると他者からの指示で動けるようにする子どもを育てることが、目的ではありません。子どもたちが自ら学び、他者とかわり、自己調整しながら、より学びを深め成長していくことが大切なのです。

子どもたちの立場、子どもの側から考えても同様です。コントロールされることは、受け入れてしまえばある意味楽なことです。自分で考える範囲も絞られます。楽をすることで得られる学びがいけないというわけではありません。しかし自ら学んだこと感じたことにかなう価値があるかといえ、そうではないでしょう。自らの意思や自らの興味・関心を大いに働かせ、進んで学ぶことこそやはり大切なのです。

これから2学期が始まりますが、子どもたちが進んで物事に取り組んだり、関わり合ったりすることで起こるトラブルや課題なども当然あると思います。大人のコントロールを求めがちなところも、大人の立場からしたら当然出てくると思います。そこで大人が待つことができることが大切だと思っています。子どもたちが進んで学び、自分の頭で考えられるように、そして自分で決めて自分たちの未来を創っていくことができるように、2学期の学校での学びや生活を、共有していただけたらと思います。よろしくお願いします。

○夏休み中に、いくつかの工事が入り、主なものとして、体育館の遮熱対策が行われました。一つは、天井部分に遮熱シートがびっしりと貼られ、もう一つは、体育館のエアコンが増設されました。異常ともいえる暑さに対応するための対策です。工事中、学校承認団体の皆さんが施設利用できなかった旨、申し訳ありませんでした。今後はより快適に活動していただけるかと思います。

○「学校生活を安心してよりよいものにするために」というお話を始業式でします。子どもの声をしっかりと聞き、子どもたちが安心して相談できる学校生活になるよう更新していくという趣旨です。

○秋の交通安全運動が9月21日～30日に行われます。交通事故には、引き続き十二分に気を付けて生活をしてほしいと思います。

○お休みをいただいていた高木案理副校長が復帰しました。保護者・地域の皆様には、ご心配をおかけしました。休職中に様々ご支援ご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。